汎用 Java プログラミング実習テスト 2022/6/14

解答は Google フォームでおこないます。

以下のリンクを右クリックし、「新しいウィンドウで開く」としてください。

https://forms.gle/VLQjuV11CqqHeVQFA

1 問題

次の $oxed{egin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$
1. Java ではソースコードを作成したあと $\fbox{1}$ してから実行する。
2. 1 されたものは 2 に変換されている。
3. 2 は仮想マシンである 3 が解釈してマシン語に置き換えられ実行される。
4. 変数を宣言する際は 4 が必要である。
5. メソッドを定義する際に "public void getName () { }" となっている場合の"public" を 5 という。
6. メソッドを定義する際に "public void getName () { }" となっている場合の"void" を 6 という。
7. メソッドを定義する際に "public void getName () { }" となっている場合の"getName()" を 7
という。
8. int 型の配列 hand を宣言する場合は " 8 hand" とする。
9. Java の配列は 9 である。
10. クラス Hero をインスタンス化する際は "10 Hero () " とする。

表 1 解答群

(ア) アクセス修飾子	(イ) JVM	(ウ) new	(エ) バイトコード
(オ) メソッド名	(カ) コンパイル	(‡) Apache	(ク) int[]
(ケ) 基本データ型	(コ) 戻り値の型	(サ) 参照型	(シ)型

2 問題

 クラスプロック内にある変数のことを 1 という。 クラス内にあるメソッドから、"name" という 1 にアクセスするには" 2 .name" とする。 1 のアクセス修飾子は基本的に 3 にする。これを"カプセル化"という。 それに対して"メソッド"は基本的に 4 にする。 カプセル化をおこなうと外部から 1 にアクセスできなくなるので、 1 の値を取得するため 5 メソッドを作成する。 カプセル化をおこなうと外部から 1 にアクセスできなくなるので、 1 に値を設定するため 6 メソッドを作成する。 7 たけいでは、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本	次の 1 ~ 10 にあてはまるものを解答群から選んでください。(各 2 点)
3. 1 のアクセス修飾子は基本的に 3 にする。これを"カプセル化"という。 4. それに対して "メソッド"は基本的に 4 にする。 5. カプセル化をおこなうと外部から 1 にアクセスできなくなるので、 1 の値を取得するため 5 メソッドを作成する。 6. カプセル化をおこなうと外部から 1 にアクセスできなくなるので、 1 に値を設定するため 6 メソッドを作成する。 7. Character クラスを元に Hero クラスを作りたい場合は Character クラスを 7 して作成すればよい。 8. 7 をおこなうためのキーワードは "Hero 8 Character "である。 9. 実装部分を持たない abstract なメソッドやクラスを 9 メソッド、 9 クラスという。	1. クラスブロック内にある変数のことを 1 という。
 4. それに対して "メソッド" は基本的に 4 にする。 5. カプセル化をおこなうと外部から 1 にアクセスできなくなるので、 1 の値を取得するため 5 メソッドを作成する。 6. カプセル化をおこなうと外部から 1 にアクセスできなくなるので、 1 に値を設定するため 6 メソッドを作成する。 7. Character クラスを元に Hero クラスを作りたい場合は Character クラスを 7 して作成すればよい。 8. 7 をおこなうためのキーワードは "Hero 8 Character" である。 9. 実装部分を持たない abstract なメソッドやクラスを 9 メソッド、 9 クラスという。 	2. クラス内にあるメソッドから、"name" という $oxed{1}$ にアクセスするには " $oxed{2}$.name" とする。
5. カプセル化をおこなうと外部から 1 にアクセスできなくなるので、 1 の値を取得するため 5 メソッドを作成する。 6. カプセル化をおこなうと外部から 1 にアクセスできなくなるので、 1 に値を設定するため 6 メソッドを作成する。 7. Character クラスを元に Hero クラスを作りたい場合は Character クラスを 7 して作成すればよい。 8. 7 をおこなうためのキーワードは "Hero 8 Character"である。 9. 実装部分を持たない abstract なメソッドやクラスを 9 メソッド、 9 クラスという。	3. 1 のアクセス修飾子は基本的に 3 にする。これを"カプセル化"という。
 め 5 メソッドを作成する。 6. カプセル化をおこなうと外部から 1 にアクセスできなくなるので、 1 に値を設定するため 6 メソッドを作成する。 7. Character クラスを元に Hero クラスを作りたい場合は Character クラスを 7 して作成すればよい。 8. 7 をおこなうためのキーワードは "Hero 8 Character" である。 9. 実装部分を持たない abstract なメソッドやクラスを 9 メソッド、 9 クラスという。 	4. それに対して " メソッド" は基本的に 4 にする。
 6. カプセル化をおこなうと外部から 1 にアクセスできなくなるので、 1 に値を設定するため 6 メソッドを作成する。 7. Character クラスを元に Hero クラスを作りたい場合は Character クラスを 7 して作成すればよい。 8. 7 をおこなうためのキーワードは "Hero 8 Character" である。 9. 実装部分を持たない abstract なメソッドやクラスを 9 メソッド、 9 クラスという。 	5. カプセル化をおこなうと外部から $\fbox{1}$ にアクセスできなくなるので、 $\fbox{1}$ の値を取得するた
 め 6 メソッドを作成する。 7. Character クラスを元に Hero クラスを作りたい場合は Character クラスを 7 して作成すればよい。 8. 7 をおこなうためのキーワードは "Hero 8 Character" である。 9. 実装部分を持たない abstract なメソッドやクラスを 9 メソッド、 9 クラスという。 	め 5 メソッドを作成する。
 7. Character クラスを元に Hero クラスを作りたい場合は Character クラスを 7 して作成すればよい。 8. 7 をおこなうためのキーワードは "Hero 8 Character" である。 9. 実装部分を持たない abstract なメソッドやクラスを 9 メソッド、 9 クラスという。 	6. カプセル化をおこなうと外部から $oxed{1}$ にアクセスできなくなるので、 $oxed{1}$ に値を設定するた
よい。 8. 7 をおこなうためのキーワードは " Hero 8 Character " である。 9. 実装部分を持たない abstract なメソッドやクラスを 9 メソッド、 9 クラスという。	め 6 メソッドを作成する。
8. 7 をおこなうためのキーワードは " Hero 8 Character " である。 9. 実装部分を持たない abstract なメソッドやクラスを 9 メソッド、 9 クラスという。	7. Character クラスを元に Hero クラスを作りたい場合は Character クラスを 7 して作成すれば
9. 実装部分を持たない abstract なメソッドやクラスを 9 メソッド、 9 クラスという。	 よい。
	8. 7 をおこなうためのキーワードは " Hero 8 Character " である。
10 "try{} catch (Exception e){}"を 10 という	ーーー 9. 実装部分を持たない abstract なメソッドやクラスを 9 メソッド、 9 クラスという。
10. If y () catch (Exception c) () & 10 CV 10.	10. " try { } catch (Exception e) { } " を 10 という。

表 2 解答群

(ア) 継承	(イ) プロパティ	(ウ) private	(エ) public
(オ) this	(カ) extends	(キ) ゲッター	(ク) static
(ケ) セッター	(コ)フィールド	(サ) 例外処理	(シ) 抽象

3 問題

```
にあてはまるものを解答群から選んでください。同じ記号を選択してもよいです。
    次の
                  15
  (各 2 点)
    リスト1
             Main java
        java.util.Random;
                                                  // クラスのインポート
         java.util.Scanner;
  public
              Main {
                                                   // クラスの作成
    public
            3 |void main(
                                args) {
                                                // メインメソッドの作成
             num1 = new
                          6
                             ().nextInt(10);
                                                    // ランダムな整数値を生成して代入
         5
             num2 = new
                              ().nextInt(20);
      System.out.println("文字1を入力してください");
            str1 = new 8 (System.in).nextLine();
                                                  // ユーザーに文字列を入力してもらって代入
10
      System.out.println("文字 2 を入力してください");
11
             str2 = new 8 (System.in).nextLine();
      System.out.println("数值 1:"+num1);
      System.out.println("数值 2:"+num2);
      System.out.println("文字 1:"+str1);
      System.out.println("文字 2:"+str2);
      System.out.println("何算をしますか?");
17
      System.out.println("1:足し算 2:引き算 3:掛け算 4:割り算");
      int select = new
                     8 (System.in).nextInt();
                                                   // ユーザーに数値を入力してもらって代入
                                                    // ユーザーの入力値が1の場合
      if ( 9 |== 1) {
20
        System.out.println("何と何を足しますか?");
21
        System.out.println("5:数値 1 と数値 2
                                        6:文字 1 と文字 2");
        select = new 8 (System.in).nextInt();
23
      }
24
         10
              (select) {
                                               // 変数の中身によって分岐
               2:
                                                 // 2 の場合
           11
          System.out.println(minus(num1, num2));
             12
                                                  // 10
                                                           を抜ける
29
               3:
                                                 // 3 の場合
           11
30
          System.out.println(multi(num1, num2));
31
            12
                                                  II
                                                      10
                                                           を抜ける
32
                4:
                                                 // 4 の場合
           11
33
```

```
System.out.println(division(num1, num2));
               12
                                                                10
                                                                       を抜ける
                  |;
                                                           II
35
                   5:
             11
                                                           // 5 の場合
            System.out.println(plus(num1, num2));
                                                                10
               12
                                                           //
                                                                       を抜ける
                                                           //6 の場合
            11
                   6:
39
            System.out.println(plus(str1, str2));
                                                           II
                                                                10
                                                                       を抜ける
             13
                                                         // 上記以外の場合
            System.out.println("エラー");
       }
     }
45
     public static
                    14
                        plus(int num1, int num2) {
                                                          // 戻り値の型を考える
       return num1 + num2;
     }
     public static
                   15
                          plus(String str1, String str2) {
                                                             // 戻り値の型を考える
       return str1 + str2;
50
51
     public static int minus(int num1, int num2) {
52
       return num1 - num2;
     }
     public static int multi(int num1, int num2) {
55
       return num1 * num2;
57
     public static int division(int num1, int num2) {
58
       return num1 / num2;
     }
60
   }
61
```

表 3 解答群

(ア) int	(イ) switch	(ウ) String[]	(エ) String
(オ) select	(カ) case	(丰) default	(ク) import
(ケ) class	(コ) Random	(サ) while	(シ) Scanner
(ス) exit	(セ) static	(ソ) abstract	(タ) break

4 問題

以下のコード中の 1 ~ 15 にあてはまる適切な語句を、あとの解答群から選び、記号で答えてください。同じ記号を複数回使ってもいいです。(各 2 点)

```
リスト2 Main java
```

```
public class Main {
    public static void main (String[] args) {
      // ヒーロークラスのインスタンスを作成。名前は「ミナト」、HP は「100」
        1 | h = new Hero ( | 2 | , | 3 | );
      // マタンゴクラスのインスタンスを作成。サフィックスは「A」
        4 m = new Matango (
                           5 );
                             // ヒーローインスタンスのアタックメソッドを実行
      h.attack (
                  );
                              // マタンゴインスタンスのアタックメソッドを実行
      m.attack (
      m.run ();
      h.run ();
       8 | c = h;
                         // ヒーロークラスのインスタンスは親クラスの型にも入れることができる
11
      System.out.println (c.getName());
    }
14
```

リスト3 Character.java

```
public
           9
                class Character {
                                             // 抽象クラス
     private String name;
     public Character (String name) {
       this.name = name;
     }
     public 9 void attack (Matango m);
                                                       // 抽象メソッド
     public void run(){
       System.out.println (this.name + "は逃げ出した!");
     public String getName(){
10
       return name;
12
     public void setName (String name) {
13
       this.name = name;
     }
15
```

```
17
     リスト4
               Hero java
   public class Hero
                     10
                           Character {
                                                 // キャラクタークラスを継承
     private int hp;
     public Hero (int hp, String name) {
                   12 );
          11
                                      // 親クラスのコンストラクタを呼び出す
          13
               .hp = hp;
                                   // hp フィールドに値を設定
     }
     public void attack (
                        14 m) {
                                             // マタンゴインスタンスを受け取る
       System.out.println ("お化けキノコを攻撃!");
       System.out.println ("お化けキノコに5ポイントのダメージを与えた!");
       m.setHp (m.getHp() - 5);
10
     }
     public int getHp(){
       return hp;
13
     }
14
     public void setHp (int hp) {
       this.hp = hp;
     }
17
   }
19
     リスト5
               Matango.java
   public class Matango {
     private int hp = 10;
     private char suffix;
     public static
                  15 | int EXP = 10;
                                                // 定数フィールドを設定
     public Matango (char suffix) {
       this.suffix = suffix;
     }
     public void attack (Hero h) {
       System.out.println("お化けキノコ" + this.suffix + "の攻撃!");
       System.out.println("勇者に 3 ポイントのダメージを与えた!");
10
       h.setHp (h.getHp() - 3);
11
     }
12
     public void run(){
```

16 }

```
System.out.println("お化けキノコは逃げ出した!");
     }
15
     public int getHp(){
16
       return hp;
     }
18
     public void setHp (int hp) {
19
       this.hp = hp;
20
     }
21
     public char getSuffix () {
22
       return suffix;
     }
  }
25
```

表 4 解答群

(ア) 'A'	(イ) h	(ウ) Hero	(エ) abstract
(才) 100	(力) this	(‡) m	(ク) super
(ケ) name	(그) Matango	(サ) implements	(シ)"ミナト"
(ス) Character	(セ) final	(ソ) extends	(タ) fixed